弟のアトピーをきっかけに 家族で相談会にかかり 不登校の姉弟が 進学したケース

> 日本ホメオパシーセンター千葉船橋本町 工藤聖子

① | 4才 男性(次男) 主訴 アトピー ②50才 女性(母) 主訴 肩こり、首こり、慢性疲労 ③ 17才 女性(長女) 主訴 腹痛、めまい、生理痛

家族の状況

- 父は仕事で忙しく、不在のことが多い。
- 母も仕事をしており、家を空けている。
- 長男(21才)は発達障害で、通信制の高校を 卒業し、家にいる。
- 長女(17才)も不登校で家にいる。
- ・次男(14才)も不登校で家にいる。
- 母が20年前に抑うつ状態となったことをきっかけに、ホメオパシーを始める。

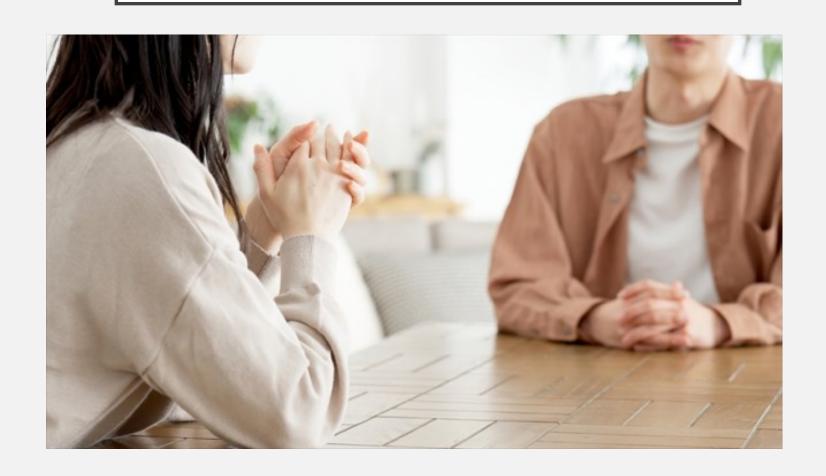
次男(14才)

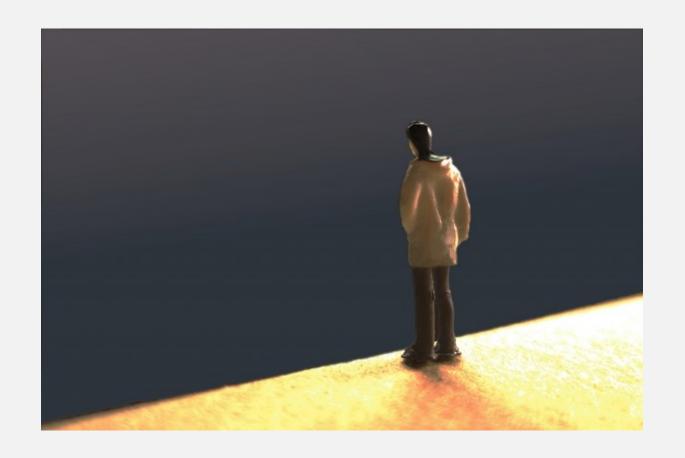
- 発達障害の兄に、蹴られたり、殴られたりして きた。逆らったことはない。
- ・小学校2年生で不登校になり、家で二人になるようになってから。姉も一緒に隠れていた。
- そのことを母親は知らない。
- 小さい時から場の空気を読んでいる。
- 姉が大好き。兄のことは憎んでいる。

長女(17才)

- 兄に対し「7つ下の弟に暴力振るう ことあるのか?なんでそんな小さな 子に対して!」という嫌悪感がある。
- 「兄が弟に暴力を振るっているとき、 結局は自分も怖くて、弟を守ってあ げられなかった。もっと自分はでき たんじゃないか?」と自分をせめて いる。

家族で話し合い





- ●MT) サポートレスキュー
- ●須我神社・奥宮の水のレメディー(生きる気力がない)
- ●オピューム (無感動・無感情)

次男 その後の変化

- 感情を抑圧する様子がなくなった。
- 高校に進学し、登校。目標もでき塾にも行くようになった。
- アトピーは良くなってないが、薬を塗ることを受け入れ、魂に灯がついたことを良しとしてもらう。

長女 その後の変化

- 大学に進学し、家を出て寮に入る。
- 友達もでき楽しくキャンパスライフを送っている。
- 食べられなかった朝ごはんも食べられるようになった。

母 その後の変化

- 「死ぬまで3人の子どもの面倒を見ないと!」という 気持ちはなくなった。
- 今はお母さんだけ相談会を続けており、 インチャ癒しに取り組んでいる。

まとめ

